

EDUCATION AI SEMINAR

生成AIは、大学の学びをどう変えるのか。

Education AI セミナー | 学修の深化と新たな教育価値の創出に向けて

生成AIの教育利用が急速に広がる中で、LLMへの過度な依存が学習者の思考や判断を弱める「認知的負債」に関する科学的議論が活発化しています。今後、大学教育はAIをどのように活用し、学生の主体的な学び、省察、成長を支えていくべきなのでしょう。本セミナーでは、生成AIの教育利用に関する最新動向、立命館大学における授業・学修支援の実践事例、立命館大学とNTT西日本が共同開発を進める「Education AI Platform」の成果を共有し、AI時代の高等教育のあり方を多角的に議論します。

01 / LATEST INSIGHTS

生成AIと学びをめぐる最新知見

AIが学習者の認知・思考プロセスに与える影響や、大学教育に求められる対応を考えます。

02 / PRACTICAL CASES

立命館大学での実践事例

省察を促す対話環境や、プロジェクト発信型英語プログラムにおける生成AI活用を紹介します。

03 / EDUCATION AI PLATFORM

学びと成長を可視化するAI基盤

立命館大学とNTT西日本が共同開発するEducation AI Platformのねらいと成果を報告します。

プログラム・タイムテーブル

時間	プログラム区分	内容・登壇者
12:30	開会挨拶	高山 茂 氏 (学校法人立命館 副総長 立命館大学理工学部 教授)
12:35	基調講演	「AI時代における高等教育の可能性と課題：学修の促進支援のための仕組みと環境を巡って」 飯吉 透 氏 (京都大学 学術情報メディアセンター 教授)
13:35	講演	「生成AIの動向と将来的な活用の方向性について」 藤崎 友之 氏 (NTT西日本株式会社 エンタープライズビジネス営業部 デジタルビジネス推進部門 デジタルデータビジネス担当課長)
14:00	休憩 (15分間)	
14:15	実践例紹介①	「省察の言語化を促す対話環境の構築と課題：教えるAIから問うAIへ」 中島 英博 氏 (立命館大学 教育開発推進機構 教授)
14:55	実践例紹介②	「生成AI時代に、『自分』から始める学びと発信：プロジェクト発信型英語プログラム (PEP) における実践」 近藤 雪絵 氏 (立命館大学 薬学部 教授)
15:35	開発趣旨報告	「学習活動における生成AI活用課題と Education AI Platform 開発のねらい」 柴田 直人 氏 (立命館大学 教学部 教学DX担当次長)
15:55	開発成果報告①	「立命館学園コンピテンシーを軸とした自己省察の深化と学びと成長の可視化」 落合 弘望 氏 (立命館大学 教学部 教学推進課 当時)
16:15	開発成果報告②	「自己点検・評価へのAI活用による教学マネジメントと内部質保証の実質化」 田中 貴久 氏 (立命館大学 教学部 教学推進課 Institutional Researcher)
16:35	パネルディスカッション	「AI時代の高等教育における教育のあり方について」 司会：中本 大 氏 (立命館大学 副学長 立命館大学文学部 教授) パネラー：飯吉 透 氏、中島 英博 氏、近藤 雪絵 氏
17:15	閉会挨拶	中本 大 氏 (立命館大学 副学長)

日時・会期

2026年9月18日 (金) 12:30~17:20 (12:00開場)

会場・形式

立命館大学 大阪いばらきキャンパス (OIC) (JR茨木駅徒歩5分)

※当日の様子は、後日オンラインでも配信予定です。

共催・後援

共催

RITSUMEIKAN

NTT西日本

後援

Microsoft Base
Ritsumeikan

事務局

NTT西日本株式会社 / 立命館大学 教学部

参加申込はこちらから！
(PCの方はQRをクリック！)